



ショウリョウバッタモドキ

埼玉県のレッドデータブックで準絶滅危惧に指定されている種です。昨年に続いて、今年も確認することができました。

戸田ヶ原  
レポート

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、秋の虫たちの鳴き声が響き、姿が目立っています。



クビキリギス

サポーターの方々とオギの刈り取りと運び出しを行った草丈の低い草地で複数の個体が見られました。成虫のまま冬を越し、春にオスが「ジューーン」と鋭い声で連続して鳴きます。



9月と10月の保全管理作業



9月18日と10月15日に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を行いました。戸田ヶ原サポーターの方々に協力いただき、9月18日はオギの刈り取りと運び出し、10月15日は外来種のセイタカアワダチソウの抜き取り等を行いました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



ミツカドコロギ

園路沿いの刈草の下に多く見られました。オスが「リッ・リッ・リッ・リッ」と4～5声ずつ切って鳴きます。

## 秋の道満まつりにブースを出展

10月13日(日)に彩湖・道満グリーンパークで開催された「秋の道満まつり」にブースを出展し、戸田ヶ原自然再生の広報活動を行いました。澄んだ秋空の下、イベントに参加された多くの方々に戸田ヶ原自然再生の取り組みを知っていただくことができました。「とだみちゃん」も活躍しました。



## 戸田ヶ原サポーター活動予定

11月19日(火)午前、戸田ひまわり幼稚園の園児のみなさんと一緒に、ハンノキなどの苗木を植える作業を行います(雨天の場合は11月21日に延期)。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などをお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

## 戸田ヶ原自然再生の目標種

### キツネ

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のキツネを紹介します。

戸田市にはキツネが出てくる昔話や伝説が数多く残されています。戸田市のまちの中に田んぼや畑が広がっていた頃は、家の周りにもキツネがくらして、人々にとって身近な存在だったのでしょうか。2010年からの3年間の調査で、戸田市の荒川河川敷でキツネの足跡やフンは見つかりましたが、キツネが子育てしている証拠を見つけることはできていません。戸田ヶ原自然再生では、キツネが子育てできる環境を整えていこうとしています。



### オグルマ情報

オグルマは葉の色が変わり始めました。地上部は枯れていきますが、根は生きています。オグルマの鉢は日向に置いたまま、水やりを続けてください。



JR埼京線またはJR武蔵野線  
武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車  
「彩湖・道満グリーンパーク入口」  
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より  
tocoバス美笹循環乗車  
「道満」下車徒歩8分

